

読者ひろば

コロナに感染 医療者に感謝

高谷和生⁶⁸

市民グループ代表

(玉名市)

昨年12月、痛めていた右肩手術のため、熊本市の整形外科に入院した。この間、肩の治療とコロナにも感染してしまった。院内では一般医療と感染防止の両立に奮闘される医療者のみなさまに感謝する日々だった。

堂尊氏の「世界初の新型コロナウイルス小説」と銘打った「コロナ黙示録」を持参したのは、あまりに皮肉なことだった。ただ陽性判明後、コロナ治療と整形医療を迅速に両立させ、限られた陣容で奮闘する姿には頭が下がった。防護服一つの着脱にしても、当然ながら小説よりも厳格だった。特に、選抜PT(理学療法士)によるベッドサイドリハビリは、患者を置き去りにしない当院と医療者の「矜持」を肌身で感じ、思わず目頭が熱くなった。

直近の報道では、国は今年5月にも新型コロナウイルスを「5類」へ引き下げるという。ただし、コロナが消滅するわけではない。高齢者を守る手だては間に合うのだろうか。治療薬は、必要とする国民に十分に行き渡るのだろうか。子どもたちも含め、「マスク着脱の自由」が、社会や学校で受け入れられるだろうか。

出でるような日々が、一日も早く訪れることを願っている。

投稿される方へ

「読者ひろば」への投稿は400～600字。「主張・提言」に採用することもあります。◇欄外に郵便番号、住所(建物名も)、氏名、年齢(小・中・高校生は学年も)、職業(無職の方は元職でも可)、電話番号を明記する◇趣旨を変えず文章を直すこともあります◇原稿は返却しません。二重投稿、採否の理由等の問い合わせはお断りします。匿名は不採用です。掲載分には薄謝を送ります。

◇モノクロ作品集 「私の一字」
好きな文字一字を書きその理由も。「モノクロギャラリー」イラスト、写真など、タイトルを付けて。はがき、封書、メール(ファクスは不可)で年齢、職業も忘れずに。作品は返却しません。
あて先は▽郵送〒8660-8506
(住所不要)熊日「読者ひろば」係▽フ
ァクス 096(3333)1268▽メ
ール hiroba@kumanchi.co.jp